



伝統芸能の祭典

新・秋田の行事

in 仙北 2018

武家屋敷の街、角館に秋田の伝統芸能が大集結

ACCESS MAP



車両通行禁止区域

6日(土) 12:00~21:00 (角館内町エリア) / 15:00~21:00 (角館外町エリア)

7日(日) 10:00~17:00 (角館内町エリア) / 11:00~17:00 (角館外町エリア)

お問い合わせ：実行委員会事務局

秋田県 文化振興課
TEL.018-860-1530

仙北市 観光課
TEL.0187-43-3352



伝統芸能の祭典

新・秋田の行事

in 仙北 2018



10/6(土) 7(日)

会場

角館内町エリア (角館樺細工伝承館周辺)
角館外町エリア (横町・中町・立町周辺)

最新情報はwebサイトで随時更新中！ <https://www.shinakitanogyoji.jp>



主催 新・秋田の行事実行委員会
秋田県、仙北市



平成30年度文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



beyond
2020



会場図（角館内町エリア・角館外町エリア）



スケジュール ※都合により出演者・演目・時間などが変更になる場合があります。

	角館内町エリア（角館樺細工伝承館周辺）	角館外町エリア（横町・中町・立町周辺）
10月6日土	●12:00～12:30 小山田ささら（仙北市） 【多目的広場会場】 ●12:30～13:00 毛馬内の盆踊（鹿角市） 【多目的広場会場】 ●13:00～13:30 新庄まつり囃子（山形県新庄市） 【多目的広場会場】 ●13:30～14:00 根子番楽（北秋田市） 【多目的広場会場】 ●14:00～14:30 毛馬内の盆踊（鹿角市） 【東勝楽丁会場】 ●14:30～15:00 鳥海山日立舞（にかほ市） 【多目的広場会場】 ●15:00～15:30 坂之下番楽（由利本荘市） 【多目的広場会場】 ●15:30～16:00 タイ王国民族舞踊（タイ王国） 【多目的広場会場】 ●16:00～16:30 法霊神楽（青森県八戸市） 【多目的広場会場】	●15:30～16:00 秋田の竿燈（秋田市） 【横町会場】 ●16:30～ 「山・鉾・屋台行事」集結 【横町会場】 ●16:50～ 角館外町エリア「開会宣言」 【横町会場】 ●17:00～18:00 「山・鉾・屋台行事」の共演① 【横町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） 【中町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市） 【立町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） ●18:00～18:15 秋田の竿燈（秋田市） 【立町会場】 ●18:00～19:00 「山・鉾・屋台行事」の共演② 【横町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市） 【中町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） 【立町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） ●19:00～19:15 秋田の竿燈（秋田市） 【立町会場】 ●19:00～20:00 「山・鉾・屋台行事」の共演③ 【横町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） 【中町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） 【立町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市）
10月7日日	●10:00～10:30 白岩ささら（仙北市） 【多目的広場会場】 ●10:30～11:00 石神番楽（仙北市） 【多目的広場会場】 ●11:00～11:30 比立内獅子踊（北秋田市） 【多目的広場会場】 ●11:30～12:00 タイ王国民族舞踊（タイ王国） 【多目的広場会場】 ●11:30～12:30 「山・鉾・屋台行事」ふれあいタイム 【東勝楽丁会場】 ●13:30～14:00 西馬音内の盆踊（羽後町） 【多目的広場会場】 【東勝楽丁会場】 願人踊（八郎潟町） ●14:00～14:30 本海獅子舞番楽（由利本荘市） 【多目的広場会場】 【東勝楽丁会場】 仁鮒ささら踊（能代市） ●14:30～15:00 願人踊（八郎潟町） 【多目的広場会場】 【東勝楽丁会場】 西馬音内の盆踊（羽後町）	●11:30～12:00 法霊神楽（青森県八戸市） 【横町会場】 新庄まつり囃子（山形県新庄市） ●12:00～12:30 秋田の竿燈（秋田市） 【横町会場】 ●13:00～14:00 「山・鉾・屋台行事」の共演① 【横町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） 【中町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市） 【立町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） ●13:45～14:00 秋田の竿燈（秋田市） 【立町会場】 ●14:00～15:00 「山・鉾・屋台行事」の共演② 【横町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市） 【中町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） 【立町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） ●14:45～15:00 秋田の竿燈（秋田市） 【立町会場】 ●15:00～16:00 「山・鉾・屋台行事」の共演③ 【横町会場】 花輪祭の屋台行事（鹿角市） 【中町会場】 角館祭りのやま行事（仙北市） 【立町会場】 土崎神明社祭の曳山行事（秋田市）

ふれあい体験ブース

樺細工コースター製作体験

開催地仙北市角館の伝統的工芸品である「樺細工（かばざいく）」の製作体験を行います。伝統工芸士の指導のもと、材料となる山桜の樹皮を貼りつけ、オリジナルのコースターを製作する仙北市ならではの体験です。

- 体験時間：1回目10月6日土 13:30～15:30
2回目10月7日日 10:00～12:00
3回目10月7日日 13:30～15:30
- 体験料金：1,700円（当日現金にてお支払いいただきます）
- 参加定員：各回10名（事前申込制ですが、定員に満たない場合は当日受付もあります。）
- 体験会場：仙北市役所角館庁舎 西側庁舎第1会議室
秋田県仙北市角館町東勝楽丁19



六郷のカマクラ行事「天筆書き体験」

- 体験時間：10月6日土 11:00～17:00
10月7日日 10:00～16:00
※天筆が無くなり次第終了します。
- 体験会場：仙北市役所角館庁舎前広場
特設テント
- 体験料金：無料
- 参加定員：両日80名（先着順）

「山・鉾・屋台行事」ふれあいタイム

- 体験時間：10月7日日 11:30～12:30
- 体験会場：角館内町エリア
東勝楽丁会場
- 体験料金：無料
- 参加定員：特になし

秋田犬ふれあい展示

- 体験時間
10月6日土 9:30～10:30 / 13:00～14:00
※各時間内に20分の休憩があります。
10月7日日 12:00～14:00
※秋田犬の体調等により時間の変更や中止となる場合があります。
- 体験会場：角館駅前 特設テント
- 体験料金：無料 ●参加定員：特になし

角館祭りのやま行事 (仙北市)

かくのだてまつりのやまぎょうじ

外町エリア



毎年9月7日から9日まで角館総鎮守神明社と成就院薬師堂の祭典に合わせて行われるお祭りで18丁内から出される武者人形や歌舞伎人形を飾った大型のヤマを曳き回します。

曳山には「おやま囃子」の囃子方が乗り、囃子に合わせて「手踊り」が舞われます。祭典期間中、引き回すヤマの道筋が決まっておらず、狭い道路でヤマ同士が鉢合わせとなり、その都度通行の優先権を巡り交渉が行われます。交渉が決裂すると祭りのクライマックスである「やまぶっつけ」が行われます。

土崎神明社祭の曳山行事 (秋田市)

つちざきしんめいしやさいのひきやまぎょうじ

外町エリア



土崎神明社祭の曳山行事は、7月20日から21日に武者人形で飾り付けた曳山が練り歩く神明社の例祭で「土崎港曳山まつり」の愛称で親しまれています。

20日の宵祭は曳山が各町内から土崎神明社へ奉納され、翌日の本祭には町の南側の御旅所から神輿とともに北の御旅所に向かう御幸曳山と、夜、あいや節を奏でながら町内に戻る戻り曳山が巡行され、祭りは最高潮へと達します。

西馬音内の盆踊 (羽後町)

にしもないのぼんおどり

内町エリア



羽後町西馬音内に伝わる国の重要無形民俗文化財「西馬音内の盆踊」は、約700年前に源親という修行僧によってもたらされた豊年祈願の踊りが、慶長6年(1601年)西馬音内城主小野寺一族が滅び遺臣たちが主君を偲んで捧げた盆供養の踊りと合流・融合し今の姿になったと伝えられ、毎年8月16日から18日まで行われます。

深くかぶった網笠に艶やかな端縫い衣装、亡者を思わせる彦三頭巾に藍染の踊り浴衣の老若男女が、かがり火の列を挟んで行き交うように踊ります。

毛馬内の盆踊 (鹿角市)

けまないのぼんおどり

内町エリア



秋田県三大盆踊りの一つ、毛馬内の盆踊は、大太鼓と横笛のはやしで踊る「大の坂」と無伴奏の唄のみで踊る「甚句」と、「じょんから」で構成されています。「大の坂」は京都の念仏踊りの流れをくむと言われ、「甚句」は南部領だった450年前に戦いから帰った将兵たちをねぎらったのが始まりとされています。

かがり火を囲み、少しずつ移動する輪踊りで、常に内側を向いてゆったりとしたテンポで優雅に踊り、踊り手は男女とも豆絞りの手拭いで頬被りをし、きらびやかな帯で踊る衣装が特徴です。

花輪祭の屋台行事 (鹿角市)

はなわまつりのやたいぎょうじ

外町エリア



花輪祭の屋台行事(花輪ばやし)は、幸稲荷(さきわいいなり)神社と花輪神明社の合同例大祭において、10町内から出される本金箔・総漆塗りの豪華絢爛な屋台が地区内を巡行する行事です。

屋台は前部に床のない「腰抜け」と呼ばれる形式で、屋台に乗り込んだ太鼓の叩き手は歩きながら囃子を演奏します。囃子がいつ頃から奉納されるようになったかは定かではありませんが、伝承されている曲のいくつかは江戸時代前期以前の古い時代から伝えられてきたといわれています。

秋田の竿燈 (秋田市)

あきたのかんとう

外町エリア



秋田の竿燈は、8月3日から6日までの4日間、秋田市の竿燈大通りを中心に開催されます。

ねぶり流しと呼ばれる睡魔払いの七夕行事が、米の豊作を祈る庶民の願いなどと結びつき、形を変えながら発展したものと考えられています。

勇壮な竿燈ばやしと「どっこいしょ」の掛け声に合わせて長さ約14mの親竹にゆわえた9段の横竹に、合計46個の提灯をつるした竿燈をあげる熟練の差し手の妙技が見どころです。

根子番楽 (北秋田市)

ねっこばんがく

内町エリア



根子番楽は、源氏の遺臣(いしん)または平家の落人たちが伝えたものとの言い伝えがあり、現在の伝承に至っています。歌詞の内容が文学的に優れていることと、舞の形式が能楽の先駆をなす幸若舞(こうわかまい)以前のものであるという大きな2つの特徴があります。

舞はテンポの速いリズムカルなお囃子にあわせて舞う武士舞と古雅で静かなリズムの古典的な舞に大別されます。東北地方に伝承されている修験系の神楽(山伏神楽)の中でも、特に歌詞や芸能の伝承が確実なものといわれています。

本海獅子舞番楽 (由利本荘市)

ほんかいししまいばんがく

内町エリア



江戸時代の初期、寛永年間(1624~1645年)に京都醍醐寺三宝院に属する修験者本海行人が旧鳥海町と旧矢島町の各村々に獅子舞を伝授したといわれています。修験的な行事を取り入れた獅子舞と番楽と称する48番の芸能を総称し、本海獅子舞番楽と呼んでいます。

鳥海山に対する信仰を背景に13地区で伝承され、特に獅子舞を重視しており他の獅子舞と比較しても舞の動作が激しく、また、歯打ちを何度も繰り返します。

〈あきぎん〉は、新・秋田の行事を応援いたします

〈あきぎん〉オリジナルキャラクター「みみより一家」

株式会社 **トラパニック**

Webサイト・システム・ムービー・CM 企画/制作/運営

秋田本社 〓 018-883-1909
〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-46

岩手オフィス 〓 019-681-8259
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1-11-17 3F

トラパニックコンテンツスクール

パソコン操作の基礎・Webクリエイター&プログラマーの育成

竿燈大通り校 〓 018-893-5275 岩手校 〓 019-681-8259

山王本校 〓 018-883-1909

株式会社ヌウジャパン

願人踊 (八郎潟町)

かんにんおどり

内町エリア



願人踊は伊勢、熊野信仰普及のため村回りの芸人となり、日本各地に唄や踊りを広めた願人坊主が伝えたものです。八郎潟町には今から300年程前の江戸時代中頃に伝えられたと言われています。

毎年5月5日の一日市神社の例大祭の日に行われ、豊年満作、五穀豊穡を祈願して各家々の玄関先や庭先で踊りを演ずる門付芸能です。唄や踊りは伊勢音頭の流れを汲み、踊りの合間に歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」五段目「山崎街道」の一場面を演ずることが特徴です。

小山田ささら (仙北市)

こやまだささら

内町エリア



上檜木内に居住した戸沢兼盛が小山田八津の観音堂に獅子舞を献じて武運長久を祈ったのが初めとされています。その後、慶長6年(1601年)戸沢氏が角館城に移る際、小山田八津の赤倉善助に踊りを伝授。以降小山田の無事平穏、悪疫退散、五穀豊穡を祈って行われたと伝わります。棒使い、獅子舞(一人立三頭獅子)で構成され、ささらの演目には、かんだち、をかざき、寝ざさらなどがあります。毎年8月八津観音堂、安楽寺、各戸で奉納披露されます。

石神番楽 (仙北市)

いしがみばんがく

内町エリア



石神番楽は、鎌倉初期に源氏の一族が石神集落に落ち延びた際に伝えたとされ、毎年8月掛樋神社祭典で番楽が行われています。

太鼓、笛、摺り鉦、謡による五調子の早いテンポと武士舞が特徴で、演目は、鎧や刀を差して舞う武士舞の基方(きかた)、鳥の冠をつけ雌雄で舞う鳥舞、三番叟、忍、番楽面を付けて舞う翁、高棒(たかだち)の舞など12種類あり、11月上旬に笠納めを迎えます。

坂之下番楽 (由利本荘市)

さかのしたばんがく

内町エリア



寛永年間(1624～1645年)に京都醍醐寺三宝院に属する修験者本海行人が旧鳥海町と旧矢島町の各村々に獅子舞を伝授したといわれている本海番楽のひとつです。

坂之下番楽は藩主生駒氏からの御用番楽としてその庇護を受けてきました。春と秋には集落の神社で、お盆(8月13日から14日)には各家庭を巡り、その後集落の会館で各演目を行います。十九番伝わる演目から今回は「空白からみ」を実演します。

白岩ささら (仙北市)

しらいわささら

内町エリア



慶長7年(1602年)佐竹氏の改易により水戸から秋田へ所領が変わった際、水戸に伝わっていたささら舞と秋田県で伝わっていた鹿踊りが融合した三頭立て獅子舞の一種です。ネマリ、カンダチ、レンボ、ツクリの四つのささら舞を伝承し、以来、約400年間、秋田県最古のささら舞として、秋田県仙北市白岩地域の男性がささら舞を継承し今日に至っています。毎年8月7日に白岩神明社で行うささら舞の奉納を皮切りに、8月13日から16日、20日の間、集落の各家庭を廻り鎮魂や神仏への奉納を意味するささらを舞います。

比立内獅子踊 (北秋田市)

ひたちないししおどり

内町エリア



比立内獅子踊は慶長年間、佐竹公が常陸から秋田へ来る時に、家来達が長旅の慰労と崩れがちな士気を盛り上げるために足軽達によって獅子踊を披露した道中芸が始まりとされています。明治16年頃小又(旧森吉町)生まれの松橋東助から浦田の駒踊りが伝わったと言われており、その後明治23年頃桂瀬の炭工夫から伝わった内容が交じり、戸沢ささらなどを参考にして、今日の比立内獅子踊りが出来たとされています。

鳥海山日立舞 (にかほ市)

ちょうかいさんひたちまい

内町エリア



横岡(旧象潟町)に伝わる番楽で、横岡獅子舞、横岡番楽とも言われ、寛永17年(1640年)に矢島領主の、生駒氏が伝えた番楽とされています。この舞は7月1日に神降しという儀式舞が行われ、実際は

8月の盆に本舞が演じられ、9月1日の神送りが舞納めとなります。演目は番楽、翁、吉田、屋島路、熊谷、堀川、たろたろ、田村、団七、一人餅つき、三人立ち、屋島、影清、重蔵、ゆらゆら、猿番楽、さつま、空白からみなどを伝えています。

新庄まつり囃子 (山形県新庄市)

しんじょうまつりばやし

内町エリア
外町エリア



新庄まつりは、宝暦6年(1756年)、藩主戸沢正誼が、前年の大凶作に打ちひしがれている領民に活気と希望を持たせ、豊作を祈願するため、氏神である天満宮の祭りを催し、町人に呼びかけて飾り物や

囃子を出させ市中を巡航したのが起源とされます。

現在も20台の山車を街中の各町内若連が製作し、地域の子も達が曳き手となり、囃子は周辺集落の各若連により、山車1台に1組が付き、「宿渡」・「羯鼓」など特色ある曲目を奏します。

バーンラバム タイ王国民族舞踊 (タイ王国)

ばんらばむ たいおうこくみんぞくぶよう

内町エリア



バーンラバム タイ舞踊団は、タイ王国立大学と提携し、日本国内外の各種イベントに出演するなど、タイの伝統文化を広く紹介する活動を行っており、タイ舞踊の専門家が本場の踊りを披露します。

タイ北部に住むシャン族の踊りで、伝説の半人半鳥「キンナリー」「キンナラー」を表現した「フォン・ノック・ギンガラー」とタイの北部、南部、東部、中部の四地方の民族の気持ちや衣装、メロディーをシンクロさせて表現した「ラバム・シー・パーク」をお楽しみいただけます。

仁鮎ささら踊 (能代市)

にぶなささらおどり

内町エリア



今から400年前の慶長年間に、佐竹義宣公が常陸から秋田へ遷封の際、随従してきた山本郡道地村の藤原家先祖一族の間に踊り伝えられるささら踊りに由来しており、能代市の仁鮎に伝わったのが300

年程前と言われています。駒踊りは、仁鮎の国有林に阿仁の村から働きにきた杜夫が山小屋で仁鮎の若者に教えたと伝わっています。

大正13年5月の大火により道具類など一切消失しましたが、昭和8年の響橋渡り初めの際に復活し、現在に伝えられ保存されています。

法霊神楽 (青森県八戸市)

ほうりょうかぐら

内町エリア
外町エリア



法霊神楽は、青森県八戸市内丸の籠(おがみ)神社に伝わる、山伏系統の神楽です。江戸時代、法霊社(現神社)は八戸藩の守護神であり、藩内の山伏が交代で神楽を奉納していたため、法霊社直属の

神楽はありませんでした。戦後、氏子の青年会が中心となって2ヶ所からそれぞれ神楽を習い、現在まで2流派の演目を伝承しています。

演目は、権現舞、山の神のほか、曲技的な杵舞や剣舞など、多くを有しています。また、早池峰神楽で見られ、八戸にはない八幡舞という演目があるのも特徴です。



北都銀行

イベントのことなら

Ys ワイズ 株式会社

第61回抱返り溪谷紅葉祭

平成30年10月10日(水)▼11月10日(土)

田沢湖抱返り県立自然公園秋田県仙北市田沢湖「アクセス」田沢湖から車で約20分、角館駅から車で約15分。期間中は角館駅から無料シャトルバス運行。是非お越しください。

田沢湖抱返り県立自然公園秋田県仙北市田沢湖「アクセス」田沢湖から車で約20分、角館駅から車で約15分。期間中は角館駅から無料シャトルバス運行。是非お越しください。

〈ご来場アンケートのお願い〉

新・秋田の行事 in 仙北2018にお越しいただいた皆様に、アンケートのご協力をお願いいたします。

アンケート用紙は会場内の案内所で配布しております。ご記入後、案内所の回収ボックスかお近くのスタッフにお渡しください。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様に「仙北市特産品」をプレゼント! ※抽選結果は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

アンケートはホームページか、こちらのQRコードからもご記入いただけます。

<https://goo.gl/forms/eHNpgl0FLKbeL2k2>